

学校教育目標：自ら学び 心豊かで たくましい 鉢っ子の育成

第3号



鉢っ子

キーワード：「笑顔」

TEL 82-5011
FAX 83-5428

スローガン

すべての児童、すべての教職員が「笑顔あふれる」活動をしよう



PTA総会/授業参観/学級懇談会

ご参加ありがとうございました

20日(土)の振替授業日には、ご多用の中、たくさんの保護者の皆様が「PTA総会」「授業参観」「学年・学級懇談会」に足を運んでくださり、ありがとうございました。

PTA総会時には平成30年度の事業報告と会計決算報告、平成31年度の事業計画と会計予算審議、役員承認等について承認をいただきました。昨年度に引き続き、梶田樹記会長のもと、さらに新役員さんをスタッフに加え、平成31年度のPTAがスタートしました。今年度もご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

また、校長の挨拶では本校の教育目標やキーワード「笑顔」、スローガン等についての説明させていただきました。さらに、「早寝・早起き・朝ご飯」、「子どもたちの積極的な会話」、「車の送迎の仕方について」の3点を保護者の皆様にお願いたしました。

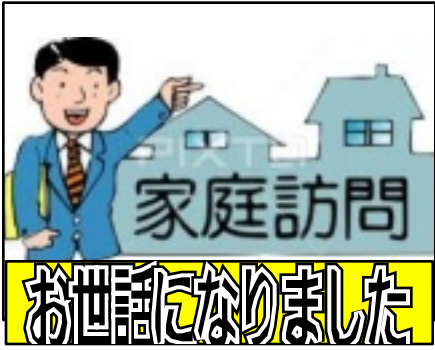
その後のそれぞれの学級での授業参観はいかがでしたか。また、学年・学級懇談会では学校からのお願いを学年主任や担任からさせていただきました。1年間よろしくお願いたします。

本校職員が一丸となり、保護者の皆様と一緒に教育目標でもある「自ら学び心豊かで たくましい鉢っ子の育成」に努めて参りますので、今後とも学校教育活動へのご理解並びにご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

鉢っ子たちの さわやかで元気なあいさつ



毎日、すがすがしい気持ちになっています。理由は、子供たちの「さわやかなあいさつ」、「元気なあいさつ」のお陰なんです。私が毎朝(7時30分頃から)正門前で立哨指導をしていると100mも先の方から大きな声で元気よく「校長先生、おはようございます」とほとんど子供たちがあいさつをしてくれます。こちらこそその声に負けじと大きな声で「おはようございます」と返しているのですが、本当に気持ちがいいです。本校の自慢の一つだと思います。子供たちから元気なパワーをもらい、「さあ、今日も一日がんばるぞ」というさわやかな気持ちになります。



12日(金)、15日(月)、16日(火)、18日(木)、19日(金)の5日間、各担任による家庭訪問を実施させていただきました。訪問時間は短時間でしたが、保護者の皆様には大変お世話になりました。訪問の様子を聞かせていただいたり、反対に担任からは子供たちの家庭生活の様子を伝えることができたりと、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

これからも、学校と家庭、そして地域が一体となって「自ら学び 心豊かで たくましい 鉢っ子の育成」を目指して、「笑顔あふれる」取り組みを推進していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

また、今後、子どもたちのことで心配ごとや相談ごと等がありましたら、遠慮なく学校(担任等)までご連絡ください。

全国学力・学習状況調査に真剣に挑む鉢っ子6年生

4/18

国語・算数

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

ア 小学校調査

国・公・私立学校の小学校第6学年

イ 中学校調査

国・公・私立学校の中学校第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

① 小学校調査は、国語、算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。

② 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を中心とした出題

イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容を中心とした出題

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する（例 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 等）。

4 時間割（小学校抜粋）

1時限目	2時限目	3時限目
国語（45分）	算数（45分）	児童質問紙（20～40分程度）

5 その他

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

今年度の全国学力・学習状況調査は、全国の国公立の全校と私立の50.1%が参加し、計29,518校の約2,121,000人が受けました。県内では国公立計730校で約50,000人が受けました。今回、「英語」が中3で初めて導入されました。毎年実施している「国語」と「算数・数学」は小中とも、これまでは基礎知識を問うA問題と活用力を測るB問題に分かれ、時間割も別々であったが、今回から一体的に問われる形に変更になりました。これに伴い、2教科の試験時間は小6で120分から90分に、中3で180分から100分にそれぞれ短縮されました。

今回の全国学力・学習状況調査に挑んだ6年生の教室をそっとのぞくと、鉛筆の音だけが聞こえる光景がそこにありました。誰もが真剣に問題に取り組み、一生懸命に答えを書いています。この時ばかりは笑顔はなく、真剣そのものの顔つきでした。終了のチャイムが鳴り、調査を終えた6年生の顔にやっと笑顔が戻りました。ごくろうさまでした。

